

平成 31 年度 第 1 回理事会議案書

第 1 号議案 平成 30 年度 事業報告の件

第 2 号議案 平成 30 年度 決算報告の件

第 3 号議案 令和元年度 第 1 回評議員会開催の件

○定款

○役員等一覧

第1号議案 平成30年度事業報告の件

平成30年度の事業は、公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会定款第4条に基づき、「フットサル等スポーツ活動の普及」「フットサル等競技会等の開催・助成」「フットサル等スポーツ活動の調査・研究」の各事業を計画通り実施しました。

このことのご賛同を決議願います。

1 定款第4条1のフットサル等スポーツ活動の普及

1-1 スポーツ用品の寄贈

本事業は、平成30年7月25日以前の一般財団法人化時に寄贈が終了しました。フットサルボール3号球、4号球、同室内ゴール、ポッチャ道具等を下記の通り、各学校の希望に応じて寄贈しました。

小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会30年度事業申込み一覧

学 校 名	用具	3号球	4号球	ゴール	ポッチャ	その他	合計金額	税込金額(商品)	送料
1 札幌視覚支援学校	ティーボール関係					下記の通り	21,780	19,980	1,800
4 帯広盲学校	E				1		22,144	20,844	1,300
8 函館聾学校	E				1		22,144	20,844	1,300
9 旭川聾学校	E				1		22,144	20,844	1,300
12 雨竜高等養護学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
13 札幌高等養護学校	E				1		22,144	20,844	1,300
14 札幌稲穂高等支援学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
15 札幌あいの里高等支援学校	E				1		22,144	20,844	1,300
18 新篠津高等養護学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
19 小樽高等支援学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
20 伊達高等養護学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
22 北斗高等支援学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
23 今金高等養護学校	E				1		22,144	20,844	1,300
24 旭川高等支援学校	E				1		22,144	20,844	1,300
25 美深高等養護学校	E				1		22,144	20,844	1,300
26 あいべつ校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
29 新得高等支援学校	E				1		22,144	20,844	1,300
30 中札内高等養護学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
31 幕別分校	E				1		22,144	20,844	1,300
釧路鶴野支援学校	E				1		22,144	20,844	1,300
32 中標津高等養護学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
35 市立札幌みなみの杜高等支援学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
36 日本体育大学附属高等支援学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
37 美唄養護学校	E				1		22,144	20,844	1,300
39 札幌養護学校	E E				2		44,288	41,688	2,600
45 余市養護学校	E				1		22,144	20,844	1,300
46 しりべし学園分校	E				1		22,144	20,844	1,300
47 室蘭養護学校	A B	2	2	2			35,464	27,864	7,600
51 おしま学園分校	E				1		22,144	20,844	1,300
53 東川養護学校	E				1		22,144	20,844	1,300
58 帯広養護学校	B		2	1			17,138	13,338	3,800
62 真駒内養護学校	サポートスティック					下記の通り	17,500	16,200	1,300
63 手稲養護学校	E				1		22,144	20,844	1,300
64 拓北養護学校	コーナーポスト2					下記の通り	21,240	19,440	1,800
65 函館養護学校	フロートクッション					下記の通り	20,980	19,980	1,000
							¥743,356	659,556	83,800

11 札幌視覚支援学校	ティーボール関係	販売価格	数量
		¥19,008	1
		販売価格	数量
		¥972	1

62 真駒内養護学校	サポートスティック	販売価格	数量
		¥5,400	3

64 拓北養護学校	コーナーポスト2	販売価格	数量
		¥9,720	2

65 函館養護学校	フロートクッション	販売価格	数量
		¥19,980	1

1-2 フットサル指導員の派遣

赤色の囲み部分は一般財団法人時、青色囲み部分は公益財団法人時のフットサル指導員の派遣事業の実施日程です。全て計画通りに実施することができました。

それぞれの実施報告書は、本法人ホームページ<https://onoderashingo-zaidan.or.jp/>「スポーツ活動の取り組み」に掲載いたしました。

H30年度 小野寺眞悟障害がい者スポーツ振興会 フットサル指導員派遣巡回指導 予定表 (11月12日現在)

対象校	日時	担当者	備考	派遣者	往復距離 ×30円	派遣費 (1日1万円)	派遣費合計	備考
中札内・新得・幕別分校 共同交流大会	7月8日(日) 13:00~16:00	濱谷教諭	フットサルクリニック・3校での交流練習試合	吉田・笠間	512km×30円=15360円 高速代 新川~帯広JCT 5530円×2=11060円	1万×2人×2日=4万	66420円	後泊後帰礼予定
北海道今金高等養護学校	7月12日(木) 13:00~17:00	海田教諭	授業、部活動の2回実施予定 授業は3年生31名 部活動は17名 フットサルの基礎、発展の内容	吉田	558km×30円=16680円 高速代 新川~国釧 6080円×2=12160円	1万×1人×2日=2万	48840円	後泊後帰礼予定
北海道新得高等支援学校	11月10日(土) 9:00~13:00	山口教頭	スポーツクラブでの指導を実施 人数は12名程	吉田	426km×30円=12800円 高速代 新川~十勝清水 4860円×2=9720円	1万×1人×2日=2万	42320円	後泊後帰礼予定
北海道札幌あいの里高等支援学校	10月22日(月) 10:30~12:30	菅本教諭	1年生授業、25名	吉田	74km×30円=2220円	3000円×1人=3000円	5220円	日帰り
北海道札幌あいの里高等支援学校	10月25日(木) 13:00~15:00	菅本教諭	1年生授業、25名	吉田	74km×30円=2220円	3000円×1人=3000円	5220円	日帰り
市立みなみの社高等支援学校	12月21日(金) 15:30~17:30	金子教諭	部活動 1, 2年生8名	吉田	52km×30円=1560円	3000円×1人=3000円	4560円	日帰り
北海道北斗高等支援学校	11月15日(木) 13:00~18:00	戸倉教諭	授業、部活動の2回実施予定 授業は1.2年生27名 部活動は24名	吉田	680km×30円=20400円 高速代 新川~大沼公園 7590円×2=15180円	1万×1人×2日=2万	55580円	後泊後帰礼予定
北海道紋別高等養護学校	11月8日(木) 13:00~18:00	三木教諭	1,2学年合同授業49名 放課後交流会30名程	吉田	624km×30円=18720円 高速代 新川~比布JCT 4820円×2=9640円	1万×1人×2日=2万	48360円	後泊後帰礼予定
北海道七飯養護学校おしま学園分校	12月11日(火) 13:00~18:00	村田教諭		吉田	708km×30円=21240円 高速代 新川~大沼公園 7590円×2=15180円	1万×1人×2日=2万	56420円	後泊後帰礼予定

2 定款第 4 条 2 のフットサル等競技会の開催・助成

1-1 「2019 第 3 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会」の開催

障害の重い中学部及び高等部校が出場するカテゴリー I が 5 校、高等部単独校のカテゴリー II が 21 校、全 26 校で、公益財団法人化翌日の平成 30 年 7 月 27 日に開催しました。

2018 第2回小野寺眞悟杯
北海道特別支援学校
フットサル大会

7.27 (金) 9:00~15:30
会場/真駒内セキスイハイムアイスアリーナ

主催：一般財団法人小野寺眞悟杯いっしょスポーツ振興会 主催：一般社団法人エスポラード北海道スポーツクラブ
協力：一般社団法人明日佳 社会福祉法人明日佳 社会福祉法人長沼福祉会 札幌北の杜ライオンズクラブ
後援：北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道特別支援学校校長会

デザイン：北海道八雲養護学校

私の願い



一般財団法人小野寺眞悟杯いっしょスポーツ振興会
理事長 小野寺 眞悟

今年の大会は、二つのグループに分けて行います。今年は、カテゴリー I に 5 校、カテゴリー II に 21 校、道内 26 校の学校が参加する大会になりました。フェアプレーの精神の下、自ら全力を挙げつつもチームとして勝利するよう頑張ってください。

さて、私は、北海道の特別支援学校で学ぶ皆さんに、この大会で特に身に付けてもらいたいことがあります。それは、「フットサルを通して体を鍛え」、「フットサルを通してチームワークを学び」、「フットサルを通して努力する心を磨く」ことです。

私は、その結果として、卒業後、働く喜びを胸に秘めた自立した人になってほしいと願っております。

また、この大会は、皆さんが日々練習してきたフットサルの成果を発表する場です。皆さんがご存知のように、フットサルには、守るべき約束があります。その約束の根拠は、コートの上で対戦する相手を大事にする他人を尊重し、つまり戦う相手の選手をリスペクトする心です。あなたが対戦する相手の人を大事にするリスペクトする心、他人を尊重する心を持つことは、卒業後の自立と就労の場に出た時、あなたが困ったときに、きっと誰かが、あなたをリスペクトし、手を差し伸べてくれます。この相手を尊敬するリスペクトの心もこの大会で学んでください。

最後になりましたが、参加した選手の皆さんと、熱心にご指導された教師の皆さん、またご家族の皆さんの多岐多岐を祈念するとともに、皆さんの卒業後の活躍を期待しております。

潔くリスペクトし「尊敬すること。敬意を表すること。価値を認めること。」

開催要項

- 目的** 本大会は、北海道の特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々練習してきた成果を誇り、自校生徒間のチームワークを深め、かつ他校生徒に対しては敬意の念を持ってプレーし、社会性を養うとともに、意欲的に就労と社会参加への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者として成長することを期しています。
- 会場** 札幌市真駒内セキスイハイムアイスアリーナ
- 日時** 平成 30 年 7 月 27 日 (金) 午前 9 時 00 分 ~ 午後 3 時 30 分
- 主催** 一般財団法人小野寺眞悟杯いっしょスポーツ振興会
- 主管** 一般社団法人エスポラード北海道スポーツクラブ
- 協力** 医療法人明日佳、社会福祉法人明日佳、社会福祉法人長沼福祉会、札幌北の杜ライオンズクラブ、北海道教育委員会
- 後援** 札幌市教育委員会
- 競技規則** FIFA フットサル競技規則に準拠
- 大会日程**
 - ①開会式 午前 9 時 00 分 ~
 - ②予選リーグ・決勝トーナメント 午前 9 時 30 分 ~
 - ③表彰・閉会式 午後 3 時 00 分 ~
- その他**
 - ①単独高等部校カテゴリーと養育併置中・高等部校カテゴリーの 2 部で開催する。
 - ②単独高等部校カテゴリーは生徒 8 名、引率者 3 名、計 11 名で構成する。養育併置中・高等部校カテゴリーは、生徒 8 名、引率者 4 名、計 12 名で構成する。
 - ③札幌市以外の市町村に設置されている学校には、当市町村から札幌市までターミナルまでの都市間バス利用に必要なバス代金は主催者が助成する。
 - ④札幌市から遠隔に設置されているため、開会式に間に合わない学校、閉会式参加後に帰宅すると遅くなる学校の生徒の宿泊・食泊する宿舎は、主催者が用意する。
 - ⑤参加校は、自校生徒及び相手校生徒等への努力・敬意・謝辞への称賛等を大事にする心を持つよう、朝日本サッカー協会「リスペクトの宣言」を事前に行進する。
 - ⑥競技規則は、FIFA フットサル競技規則に準拠するが、学校の特性および生徒の障害の特性等に応じて、主催者が、適宜に作成して、事前に周知する。
 - ⑦平成 30 年度は、1 学校 3 名の生徒によるチーム編成も認める。

運営組織

- 大会長 (理事長) 小野寺眞悟
副大会長 (事務執行理事) 小野寺裕司
大会委員 (理事) 橋 達也、藤田昌市、塚八義博、三好 昇
(監事) 水野克也、田澤泰明
(評議員) 小嶋弘弘、植木昭夫、吉田洋一、太田 真、近田勝博
(評議員選定委員会) 矢口正人、中田 貴
- マッチコミッショナー (評議員) 小野寺隆彦
実行委員長 (事務局長) 鈴木重男
- 〇総務委員会 受付・助成金等交付、大会記録、館内整理、駐車場管理
委員長 青山 隆 (札幌北の杜ライオンズクラブ会長)
委員 札幌北の杜ライオンズクラブ
補助 北海道科学大学高等学校サッカー部 (教頭・監督 山下 卓)
- 〇競技委員会 大会日程、競技ルール、試合組合・抽選
委員長 吉田順香 (社会福祉法人明日佳職員)
副委員長 笠岡慎也 (社会福祉法人長沼福祉会職員)
- 〇審判・会務委員会 審判業務、会務調整及び徴収
委員長 小野寺隆彦 (エスポラード北海道 O&O 監督)
委員 エスポラード北海道
補助 北星学園大学付属高等学校サッカー部 (監督 高倉正史)
- 〇審判委員 前泊・後泊の受入、送迎の計画、審判選手等支援
委員長 藤田なおみ (函館養護学校校長)、
委員 佐々木大介 (札幌伏見支援学校もなみ学園分校)、
藤田真希 (拓北養護学校教諭)
- 〇進行委員会 開会式・閉会式・競技進行、賞状頒給、役員等謝金交付、審判選手等支援
委員長 加藤多美実 (札幌伏見支援学校もなみ学園分校教諭)
委員 東海岸博雄 (石狩市立紅南小学校教諭)
藤田真希、吉田順一 (拓北養護学校教諭)
佐々木大介 (札幌伏見支援学校もなみ学園分校教諭)
エスポラード北海道 イルネーヴェ
- 〇教養委員会 教養関係全般
委員長 米川 生美 (社会福祉法人明日佳 あすか House 手帳副編集長)
委員 学校法人吉田学園 北海道スポーツ専門学校 A T 研究センター
- 〇プログラム委員会 プログラム印刷・製本 表紙デザイン 北海道八雲養護学校生徒
委員長 門間大智 (札幌養護高等支援学校教諭)
表紙デザイン 八雲養護学校
印刷・製本 札幌養護高等支援学校図書・流通サポート科

競技規則

- ◎ 原則として、(公財)日本サッカー協会制定のフットサル競技規則を適用します。
- ① 本大会はカテゴリ-1(中高等部併置校5校)カテゴリ-2(高等部単置校21校)の2カテゴリを実施する。
- ② ボールはフットサルボールを使用する。カテゴリ-1は3号球、カテゴリ-2は4号球を使用する。
- ③ 選手の交代は自由である。
試合開始前に選手全員が審判に用具のチェックを受け、試合中の申し出は不要とする。
交代時は、ピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。また交代ゾーンを設置しないので自陣ベンチ付近にて交代をする。
- ④ キックインはボールがピッチから出た地点から、外に2.5cm以内の地点から禁止したボールを蹴る。※カテゴリ-1は適用せず、レフェリーがサポートする。
- ⑤ ゴールクリアランスは、ゴールキーパーがペナルティエリア内から実施する。
- ⑥ キックオフ、キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
- ⑦ キックイン、フリーキック等による再開する際は、相手選手は5m以上離れる。
- ⑧ 決勝トーナメントよりファイブファウルを適用する。前、後半それぞれ各チームの累積ファウル6つ目からファウルの起きた地点もしくは第2ペナルティマークのどちらからを選択し直接フリーキックを行う。この場合、ファウルをしたチームの選手はGKを除きボールとゴールラインの間に位置することは出来ない。※カテゴリ-1は適用しない。
- ⑨ 試合時間は、大会本部が承した所定のランニングタイム方式で行う。
前、後半のコートチェンジは行わない。
- ⑩ タイムアウトは適用しない。
- ⑪ 安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。なお、スライディングタックルがあった際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
- ⑫ バックパスルールは競技規則通りに適用する。※カテゴリ-1は適用しない。
- ⑬ 退場処分は、レッドカードもしくは1試合2度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
- ⑭ 選手は、同色のユニホームを着用する。ユニホームがない場合、又は同チーム同色の場合は、大会本部が用意したビブスの着用により対応する。
- ⑮ 出場選手は必ずレガースを着用することとする。
- ⑯ ネットレス、指輪、ピアスなどの装飾品をテープ等で覆うことを禁止とする。ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること、いずれの場合もチームの第1試合の前に大会本部の承認を得ることとする。
- ⑰ ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。
- ⑱ 参加全チームは、開会式から表彰式・閉会式までの全ての日程に参加することとする。
- ◎ **審判への報告事項からの不手違い、異議、抗議などがあった際は警告とします。審判によっては、ゲームを中断とし会場からも退場してもらいます。各校の指導者は、下記のことを必ず確認してください。**

(財)日本サッカー協会「リスペクト宣言」リスペクトの本質を、常に全力を尽くしてプレーすること、そしてそれはフェアプレーの原点であると考えています。仲間、対戦相手、審判、大会関係者など、フットサルというゲームの精神を大切に思うこととしました。

参加選手名簿

カテゴリ-1(中高等部併置校)

学校名 北海道内陸支庁支庁学校					学校名 北海道札幌見支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性		区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	平川 亮一	男		責任者	教諭	高下 剛大	男	
引率者	教諭	安田 洋介	男		引率者	教諭	山本 秀徳	男	
引率者	教諭	豊島 雄志	男		引率者	教諭	岩見 龍子	女	
引率者	教諭				引率者	教諭	郷土 氏子		
背番号	学科	学年	氏名	性	背番号	学科	学年	氏名	性
1	普通科	高3	藤澤 智弘	男	1	普通科	高3	堀田 有希	女
2	普通科	高3	生田 拓白	男	2	普通科	高2	高橋 礼仁	男
3	普通科	高2	水戸部 龍人	男	3	普通科	高2	一瀬 拓己	男
4	普通科	中3	小玉 慎佑	男	4	普通科	高2	熊本 楓	女
5	普通科	中3	根本 隆真	男	5	普通科	高1	西田 光汰	男
6					6	普通科	高1	橋本 大輝	男
7					7	普通科	高1	藤井 友輝	男
8					8	普通科	高1	中塚 拓哉	男

学校名 北海道中内陸支庁支庁学校					学校名 北海道南支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性		区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	本橋 龍子	女		責任者	教諭	野本 雅明	男	
引率者	教諭	高下 健治	男		引率者	教諭	浅井 昌弘	男	
引率者	教諭	長嶋 剛太	男		引率者	教諭	西村 信隆	男	
引率者	教諭	松田 俊太郎	男						
背番号	学科	学年	氏名	性	背番号	学科	学年	氏名	性
1	普通科	中2	船井 杏梨	女	1	普通科	高3	市川 幸証	男
2	普通科	中2	久保 和人	男	2	普通科	高2	山中 健太	男
3	普通科	中2	谷口 温太郎	男	3	普通科	高2	川村 なつ	女
4	普通科	中3	橋 裕太郎	男	4	普通科	高2	竹瀬 達也	男
5	普通科	中3	田淵 祐輝	男	5	普通科	高2	田井 幸太郎	男
6	普通科	高2	桂 丞太	男	6	普通科	高1	渡 龍大	男
7	普通科	高2	斎藤 康志	男					
8	普通科	高3	田村 航	男					

学校名 北海道中内陸支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	若橋 聖矢	女	
引率者	教諭	八木本博文	男	
引率者	教諭	松室 一樹	男	
引率者	教諭	松本 成男	男	
背番号	学科	学年	氏名	性
1	普通科	高1	高橋 康弘	男
2	普通科	高1	加藤 佳風	男
3	普通科	高1	青野 小太郎	男
4	普通科	高2	工藤 透介	男
5	普通科	高2	宮本 陽明	男
6	普通科	高2	池田 将人	男
7	普通科	高3	瀧本 啓輝	男
8	普通科	高3	成瀬 光生	男

カテゴリ-2(単置校)

学校名 北海道釧路五輪支庁支庁学校					学校名 北海道中内陸支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性		区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	山本 正吾	男		責任者	教諭	高橋 龍太	男	
引率者	教諭	高橋 龍太	男		引率者	教諭	堀内 龍	男	
引率者	教諭	堀内 龍	男		引率者	教諭			
背番号	学科	学年	氏名	性	背番号	学科	学年	氏名	性
1	普通科	高3	上野 龍紀	男	1	普通科	高3	佐伯 雅哉	男
2	普通科	高1	小山 泰弘	男	2	普通科	高2	齊 龍太	男
7	普通科	高3	西澤 優	男	3	普通科	高2	高田 祥	女
8	普通科	高2	秋山 樹樹	男	4	普通科	高1	岸 智月	男
9	普通科	高3	山本 隼	男	5	普通科	高1	高橋 知枝	女
10	普通科	高3	前田 辰久	男	6				
					7				
					8				

学校名 北海道中内陸支庁支庁学校					学校名 北海道小平高支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性		区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	高橋 龍太	男		責任者	教諭	高橋 龍太	男	
引率者	教諭	堀内 龍	男		引率者	教諭	堀内 龍	男	
引率者	教諭	堀内 龍	男		引率者	教諭	堀内 龍	男	
背番号	学科	学年	氏名	性	背番号	学科	学年	氏名	性
1	工業科	高3	中塚 龍太	男	1	木工科	高1	堀口 龍	男
2	工業科	高3	岩佐 健	男	2	木工科	高1	吉原 大翔	男
3	工業科	高3	長久保 崇	男	3	木工科	高1	平出 優希	女
4	工業科	高3	森 亮人	男	4	木工科	高2	小林 悠太	男
5	木工科	高2	赤崎 宏太	男	5	木工科	高2	吉田 龍輝	男
6	工業科	高2	山岸 優友	男	6	木工科	高3	泉 龍斗	男
7	木工科	高1	牧田 隼都	男	7	工業科	高3	岩崎 大晟	男
8	工業科	高1	東田 竜司	男	8				

学校名 北海道小樽高支庁支庁学校					学校名 北海道白糠高支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性		区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	鈴木 宏和	男		責任者	教諭	村井 拓矢	男	
引率者	教諭	布部 裕隆	男		引率者	教諭	藤井 祐	男	
引率者	教諭	石川 龍哉	男		引率者	教諭	栗山 遼	男	
引率者	教諭	佐野 政司	男		引率者	教諭	高橋 由紀	女	
背番号	学科	学年	氏名	性	背番号	学科	学年	氏名	性
1	木工科	高3	石川 龍哉	男	1	工業科	高3	津田 悠哉	男
2	木工科	高3	根本 龍志	男	2	木工科	高3	藤 勇太	男
3	木工科	高3	古澤 真太	男	3	木工科	高3	津原 龍輝	男
4	木工科	高2	松浦 悠希	男	4	木工科	高3	井上 大太	男
5	木工科	高2	藤田 海斗	男	5	家庭科	高3	阿部 謙	男
6	木工科	高2	田中 大寿	男	6	木工科	高2	渡部 謙	男
7	木工科	高3	十門 隼人	男	7	家庭科	高2	津田 龍之	男
8	木工科	高3	長坂 龍太郎	男	8	木工科	高2	阿部 輝之	男

カテゴリ-2(単置校)

学校名 北海道釧路支庁支庁学校					学校名 北海道中内陸支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性		区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	中島 和也	男		責任者	教諭	佐々木 悠	男	
引率者	実習助手	小松 裕樹	男		引率者	教諭	小嶋 雅人	男	
引率者	教諭				引率者	教諭	梅井 沙織	女	
背番号	学科	学年	氏名	性	背番号	学科	学年	氏名	性
1	普通科	高3	湯原 龍	男	5	木工科	高3	片野 聖人	男
2	普通科	高2	小野 貴晴	男	8	木工科	高2	池田 希矢	男
4	普通科	高2	豊 隆真	男	12	木工科	高2	佐藤 隆斗	男
					14	家庭科	高2	藤井 和也	男
					20	木工科	高1	佐藤 舞羽	女
					21	木工科	高2	早瀬 仁	男
						家庭科	高1	小山内 蓮	女

学校名 北海道札幌南支庁支庁学校					学校名 北海道北支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性		区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	門間 大樹	男		責任者	教諭	戸倉 佑貴	男	
引率者	教諭	泉田 悠哉	男		引率者	教諭	札内 赤司	男	
引率者	教諭	宝保 龍介	男		引率者	教諭	北澤 雄次	女	
引率者	教諭	阿部 勇子	女		引率者	教諭			
背番号	学科	学年	氏名	性	背番号	学科	学年	氏名	性
1	普通科	高3	高橋 健哉	男	1	普通科	高2	竹田 創吾	男
2	木工科	高3	佐々木 悠太	男	2	木工科	高2	竹田 仁志	男
3	普通科	高3	水口 友希	男	3	普通科	高2	中村 元紀	男
4	普通科	高3	渡辺 悠太	男	4	家庭科	高2	小川 航平	男
5	木工科	高2	小末 蓮斗	男	5	普通科	高2	江川 颯哉	男
6	普通科	高2	松本 力	男	6	普通科	高2	鈴木 龍汰	男
7	普通科	高2	九村 未夢	女	7	普通科	高1	坂本 龍斗	男
8	普通科	高2	古藤 真也	男	8	普通科	高1	吉田 陸人	男

学校名 北海道釧路支庁支庁学校					学校名 北海道新十津川支庁支庁学校				
区分	職名	氏名	性		区分	職名	氏名	性	
責任者	教諭	三木 雄	男		責任者	教諭	山本 健之	男	
引率者	教諭	藤野 康平	男		引率者	教諭	林 和康	男	
引率者	教諭	熊谷 一真	男		引率者	教諭			
背番号	学科	学年	氏名	性	背番号	学科	学年	氏名	性
1	普通科	高3	星 佑夢	男	1	普通科	高3	山川 昌昌	男
2	普通科	高3	工藤 聖	男	4	木工科	高2	杉山 司	男
3	普通科	高3	堀田 貴樹	男	11	木工科	高1	佐藤 那二	男
4	木工科	高3	熊谷 俊佑	男	6	家庭科	高2	佐藤 衣斗	男
5	普通科	高2	中川 竜成	男	7	家庭科	高2	立田 智也	男
6	木工科	高2	高山 蒼大	男	8	木工科	高2	佐藤 仁己	男
7	木工科	高2	島田 輝人	男	9	普通科	高1	坂本 竜也	男
8	家庭科	高2	北澤 聖	男	10	木工科	高3	渡部 希也	男

学校名 市立札幌南高等学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 足立 友平 男 引率者 教諭 小笠原 義洋 男 引率者 教諭 角 淳一 男 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 普通科 高2 阿高 聖人 男 2 普通科 高3 平松 海斗 男 3 工業科 高3 賀明 一樹 男 4 普通科 高2 藤下 真哉 男 5 普通科 高2 西坂 光輝 男 6 普通科 高1 須藤 玲弥 男 7 普通科 高1 高西 真広 男 8 普通科 高1 倉丸 夢人 男				学校名 北海道札幌近1の里高等学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 根本 大輔 男 引率者 教諭 山田 静 女 引率者 教諭 大江 幸希 男 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 普通科 高3 中野 立 男 2 普通科 高2 森崎 雄己 男 3 普通科 高2 小柳 龍人 男 4 普通科 高1 佐藤 聖介 男 5 普通科 高1 永瀬 輝 男 6 普通科 高1 梅澤 健典 男 7 普通科 高1 米田 拓人 男 8 普通科 高1 板坂 舞 女			
学校名 北海道札幌南高等学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 渡田 裕久 男 引率者 教諭 永井 進 男 引率者 教諭 横田 雅夫 男 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 クラウド 高2 瀬橋 加徳 男 2 農業科 高2 出納 尚輝 男 6 クラウド 高2 栗田 健生 男 4 農業科 高2 山梨 伊吹 男 15 農業科 高3 白川 遼 男 14 木工科 高1 柳館 史以 男 7 クラウド 高2 菅野 浩哉 男 10 クラウド 高3 高橋 理央 男				学校名 北海道新得高等学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 山口 智也 男 引率者 教諭 石澤 義 男 引率者 教諭 安藤 沙由 女 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 木工科 3年 小曾 竜海 男 2 木工科 3年 島津 光輝 男 3 木工科 2年 石井 良康 男 4 木工科 2年 越後 孝弘 男 5 木工科 2年 高瀬 涼 男 6 家庭総合科 2年 中嶋 祐也 男			
学校名 北海道白金高等学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 海田 健 男 引率者 教諭 内田 真文 男 引率者 教諭 工藤 大地 男 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 農業科 高2 池野 真田 男 7 農業科 高2 池野 竜司 男 8 農業科 高3 佐々木 雄太 男 9 農業科 高3 清藤 一樹 男 10 農業科 高3 武田 晴哉 男 11 農業科 高3 梅澤 瑠偉 男 13 農業科 高2 小林 瑠磨 男 14 農業科 高2 藤巻 亮介 男				学校名 北海道伊達高等学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 清水 勝夫 男 引率者 教諭 加藤 龍介 男 引率者 教諭 城村 朋希 男 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 農業科 1年 飛田 慶輝 男 2 農業科 1年 三河 偉人 男 3 工業科 1年 大塚 崇 男 4 工業科 1年 住江 廉 男 5 農業科 2年 野田 一朗 男 6 木工科 2年 尾形 雅輝 男 7 木工科 2年 山田 巧雄 男 8 農業科 3年 笹沢 貴哉 男 木工科 3年 小柳 基亮 男 工業科 3年 清水 聖輝 男			

学校名 北海道千歳高等学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 斎藤 芳朗 男 引率者 教諭 西川 雅 男 引率者 教諭 西川 雅 男 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 普通科 高3 菅山 喜生 男 2 普通科 高2 岡 陽生 男 3 普通科 高2 劉馬 南海 男 4 普通科 高2 鈴木 悟 男 5 普通科 高2 岡 歩飛 男 6 普通科 高1 白澤 健貴 男 7 普通科 高1 鈴木 日奈 男 8 普通科 高1 鈴木 日奈 男				学校名 北海道高等専門学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 崎谷 利崇 男 引率者 教諭 島田 穂部 男 引率者 教諭 田野 弥子 女 引率者 教諭 土井 宗平 男 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 普通科 高3 寺 浩希 男 3 普通科 高3 池田 輝 男 4 普通科 高1 荒木 力也 男 5 普通科 高2 中川 聖 男 6 普通科 高3 佐々木 隼人 男 9 普通科 高3 後藤 真輝 男 10 普通科 高1 高木 葵 男 11 普通科 高2 太田 樹樹 男			
学校名 市立札幌みなみの村高等支援学校 区分 職名 氏名 性別 責任者 教諭 金子 祐 男 引率者 教諭 石黒 彰 男 引率者 教諭 明奴 子規 男 引率者 教諭 明奴 子規 男 背番号 学科 学年 氏名 性別 1 普通科 高2 竹内 信太郎 男 2 普通科 高2 森川 貴 男 3 普通科 高2 吉田 謙 男 4 普通科 高2 木村 豊生 男 5 普通科 高1 鈴木 尚輝 男							

大会スケジュール

2018年度 小野中興隆杯北海道特選支援学校フットサル大会スケジュール

○開会式 8:00～(生徒整列 8:50)

○予選リーグ 8:30～ 各試合1本のランニングタイムでコート内で行う。(A=コート1, B=コート2, C=コート3)

Aブロック(カテゴリ2)

	A校	B校	C校	D校
A校		A②	A⑦	A⑧
B校			A⑥	A⑨
C校				B⑤
D校				

Bブロック(カテゴリ2)

	E校	F校	G校	H校
E校		B②	B⑦	B⑧
F校			B④	B⑩
G校				C⑤
H校				

Cブロック(カテゴリ2)

	I校	J校	K校	L校
I校		C②	C⑦	C⑧
J校			C③	C⑥
K校				A⑤
L校				

Dブロック(カテゴリ2)

	M校	N校	O校	P校
M校		A③	A⑧	A④
N校			A⑥	A⑩
O校				B⑥
P校				

Eブロック(カテゴリ2)

	Q校	R校	S校	T校	UR校
Q校		A①	B①	B③	A④
R校			C④	B⑨	B⑩
S校				A⑦	A⑩
T校					A⑧
UR校					

Fブロック(カテゴリ1)

	a校	b校	c校	d校	e校
a校		B④	C⑥	C⑧	C⑩
b校			B⑤	C⑨	C⑩
c校				C⑦	B⑦
d校					C⑨
e校					

8:30～	開会式
9:45～	予選リーグ
9:50～	予選リーグ
10:00～	予選リーグ
10:10～	予選リーグ
10:20～	予選リーグ
10:30～	予選リーグ
10:40～	予選リーグ
11:01～	決勝トーナメント
11:14～	決勝トーナメント
11:27～	決勝トーナメント
11:40～	決勝トーナメント
11:53～	決勝トーナメント
12:06～	決勝トーナメント
12:18～	閉会式
12:25～	閉会式

※順位決定について
予選リーグについては以下の順により決定。
①勝ち点(同点の場合は引き分け1点、負け0点)
②得失点差(同点差の場合は先発点)
③総得点
④当該チームの成績
⑤抽籤(コイントス)
※トーナメントは決勝トーナメントに進出する。
※カテゴリ1は予選リーグのみで順位を決定する。
※試合と試合の間に次の試合のチームのみコートにボールを置いたフットサルコート。

○決勝トーナメント 13:00～



※決勝トーナメントの組み合わせは抽選で決定する。
※試合時間は1時間、準決勝は予選リーグ同様、8分1本のランニングタイムで行う。
※試合時間は8分1本のランニングタイム。
※試合時間は予選リーグの抽選をみて技術委員が決定する。

13:00～	決勝トーナメント(コート1)
13:10～	決勝トーナメント(コート2)
13:20～	決勝トーナメント(コート3)
13:30～	決勝トーナメント(コート4)
13:40～	決勝トーナメント(コート5)
13:50～	決勝トーナメント(コート6)
14:00～	決勝トーナメント(コート7)
14:10～	決勝トーナメント(コート8)

○決勝戦 14:25～ ※コートにて対ハーフの前後半のランニングタイム、ハーフタイムは1分。

○閉会式 15:00～(生徒整列 14:50) 決勝終了後に開催。

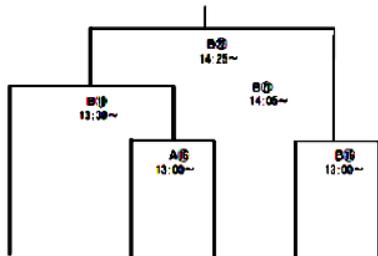
2018年度 小野中興隆杯北海道特選支援学校フットサル大会組み合わせ

	Fブロック					抽籤	対戦相手	試合時間
	1 稲内	2 伏見	3 平取	4 南幌	5 帯広			
1 稲内		B① 9:30～	C⑤ 11:01～	C⑦ 12:06～	C⑧ 9:50～			
2 伏見				B⑤ 11:27～	B⑥ 12:32～			
3 平取						A③ 9:50～	A④ 11:40～	
4 南幌								A⑤ 10:35～
5 帯広								

Fブロック	予選リーグ	順位
1	北海道南支庁高等学校	稲内
2	北海道中央高等学校	伏見
3	北海道中支庁高等学校(予選リーグ)	平取
4	北海道東支庁高等学校	南幌
5	北海道北支庁高等学校	帯広

2018第2回 小野寺国体杯北海道特別支援学校フットサル大会 交通機関み合わせ

	Aコート	Bコート	Cコート
④ 13:00~	決勝トーナメント1回戦	決勝トーナメント1回戦	F4位 × F5位
⑤ 13:13~	D4位 × E5位	C4位 × E4位	F3位 × F2位
⑥ 13:26~	A4位 × B4位	E3位 × D3位	B3位 × C3位
⑦ 13:39~	A3位 × E2位	準決勝	F1位 × F2位
⑧ 13:52~	A2位 × B2位	C2位 × D2位	F3位 × F5位
⑨ 14:05~		3位決定戦	F1位 × F4位
⑩ 14:25~		決勝戦	



開会式及び開会式次第

開会式 生徒整列 午前8時50分

開会式 午前9時00分

- | | | |
|---------|---|------------|
| 1 開式宣言 | 豆 間 慎 也 | 競技委員会副委員長 |
| 2 主催者挨拶 | 小野寺 眞 悟 | 大会長 |
| 3 祝 辞 | 秋 元 克 広 | 札幌市長 |
| 4 選手宣誓 | 北海道今金高等養護学校年
北海道北斗高等支援学校年
北海道五稜郭支援学校年 | |
| 5 大会注意 | 小野寺 隆 彦 | マッチコミッショナー |
| 6 閉式宣言 | 豆 間 慎 也 | 競技委員会副委員長 |

閉会式 生徒整列 午後2時50分

閉会式 午後3時00分

- | | | |
|----------|---|-----------|
| 1 閉式宣言 | 豆 間 慎 也 | 競技委員会副委員長 |
| 2 成績発表 | 吉 田 順 省 | 競技委員会委員長 |
| 3 表彰式 | 小野寺 眞 悟 | 大会長 |
| 4 ベスト5発表 | 吉 田 順 省 | 競技委員会委員長 |
| | カテゴリーI及びIIの呼名された選手は、前に進む、前に進んだ選手は、小野寺眞悟大会長よりトロフィー授与 | |
| 5 主催者挨拶 | 小野寺 眞 悟 | 大会長 |
| 6 閉式宣言 | 豆 間 慎 也 | 競技委員会副委員長 |

選 手 宣 誓

北海道函館五稜郭支援学校 竹田 彪吾さん
宣誓
われわれ選手一同は、
サッカーやフットサルを毎日できる環境を与えてくれた
保護者や先生方、そして本大会を開催して下さった全ての方々に感謝し、

北海道北斗高等支援学校 前田 匠久さん
日ごろきたえあげた力を思う存分発揮し、
共に汗を流してきた仲間を信じ、私たちを支えてくださる
すべての方の期待に応えられるよう

北海道今金高等養護学校 武田 竜哉さん
対戦相手をリスペクトし、正々堂々、最後まであきらめずに
全力でプレーすることを誓います。
平成30年7月27日

選手代表

北海道今金高等養護学校 武田 竜哉
北海道北斗高等支援学校 前田 匠久
北海道函館五稜郭支援学校 竹田 彪吾



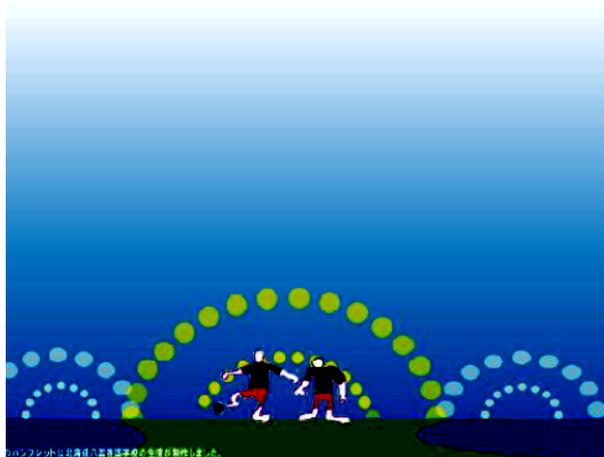
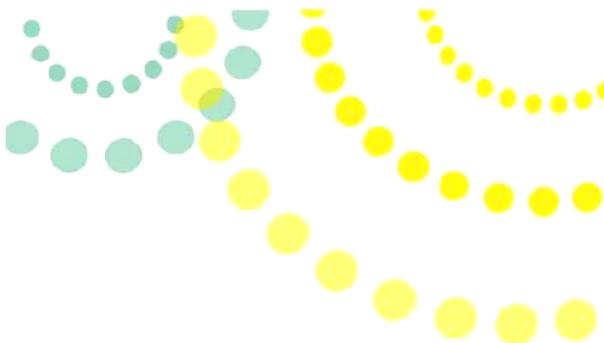
武田 竜哉さん



前田 匠久さん



竹田 彪吾さん



○参加校名と成績

2018 第 2 回小野寺眞悟杯 北海道特別支援学校フットサル大会の成績報告

○大会参加校

カテゴリー1:小学部、中学部、高等部併置特別支援学校 5校

北海道稚内養護学校、北海道札幌伏見支援学校
北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校、北海道南幌養護学校
北海道帯広養護学校

カテゴリー2:高等部単置特別支援学校 21校

北海道函館五稜郭支援学校、北海道中札内高等養護学校幕別分校
北海道中札内高等養護学校、北海道小平高等養護学校、北海道小樽高等支援学校
北海道白樺高等養護学校、北海道釧路鶴野支援学校、北海道中標津高等養護学校
北海道札幌稲穂高等支援学校、北海道北斗高等支援学校、北海道紋別高等養護学校
北海道新篠津高等養護学校、市立札幌豊明高等支援学校、北海道札幌高等養護学校
北海道あいの里高等支援学校、北海道新得高等支援学校、北海道今金高等養護学校
北海道伊達高等養護学校、北海道千歳高等支援学校、北海道高等聾学校
市立札幌みなみ高等支援学校

○大会競技成績

カテゴリー1の成績

優 勝 北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校
準優勝 北海道帯広養護学校
第3位 北海道南幌養護学校

カテゴリー2の成績

優 勝 北海道新篠津高等養護学校
準優勝 北海道高等聾学校
第3位 北海道今金高等養護学校

3 定款第4条3のフットサル等スポーツ活動の調査・研究

3-1 スポーツ活動に係る実践研究校の指定

実践研究指定校5校に10万円の研究費、北海道札幌高等養護学校には5万円のポッチャの肢体不自由用ランプ作製の研究費を助成しました。また、研究成果を整理した報告書を編纂して300部印刷し、関係機関に配布しました。

公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会
北海道特別支援学校
スポーツ研究成果報告書 2018 (No.2)



スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。
～「スポーツ基本法」より～

目 次

巻 頭 言
公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会理事長 小野寺 眞 悟

目 次
これからの障がい者スポーツを考える
～特別支援学校のスポーツ活動の充実に向けて～
公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会幹事長 近 田 勝 信

実践研究 1
神経筋応答の児童生徒の自己肯定感を高める取組
～スティックスポーツやハロウィック水泳法、eスポーツの実践を通して～
北海道八雲養護学校 教諭 小野寺 眞 悟

実践研究 2
高等養護学校のフットサル指導における実践と工夫
～キック＆コントロールとその判断～
北海道伊達高等養護学校 教諭 城 村 朋 希

実践研究 3
スポーツを通じた高等養護学校と地域との関わり
北海道今金高等養護学校 教諭 海 田 健

実践研究 4
普通高校内の新設特別支援学校
～フットサルから部活動・学校連携の在り方を創造する～
北海道北斗高等支援学校 教諭 戸 倉 広 晶

実践研究 5
CAPDを意識したみなみの杜らしいトレーニング法について
～小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会との協働による実践を通して～
市立札幌みなみの杜高等支援学校 教諭 明 杖 子 竜
教諭 金 子 裕
教諭 石 黒 彰

報 告 1
ポッチャのランプ製作の取り組み
北海道札幌高等養護学校 ポッチャランプ製作プロジェクト

報 告 2
聴覚障がい特別支援学校中学部におけるサッカー部の指導実践
及び卒業後の生徒の活動の状況について
北海道立特別支援教育センター
聴覚・言語障がい教育室長 野 町 友 祐

フットサル巡回指導の報告
社会福祉法人明日佳 吉 田 順 省
2018 第 2 回小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会事務局長 鈴木 重 男
公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会事務局長 鈴木 重 男

巻 頭 言

児童生徒のスポーツについて、「スポーツ基本法」は「スポーツは、とりわけ心身の成長の過程にある青少年のスポーツが、体力を向上させ、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培う等人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、国民の生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものであるとの認識の下に、学校、スポーツ団体、家庭及び地域における活動の相互の連携を図りながら推進されなければならない」と述べています。このことは、特別支援学校においても同等といえます。



公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会は、先のスポーツ基本法の基本理念を踏まえ、特別支援学校のスポーツ振興に関する事業を行い、障害のある児童生徒の健全な発達に寄与することを目的とするために、平成28年7月、一般財団法人として設立し、公益活動を行った結果、平成30年7月26日付で公益財団法人として認可されました。

当法人は、北海道の特別支援学校フットサル大会を主催する事業、特別支援学校にフットサル所属エスポラダ北海道のOB選手を派遣する事業、障がいの状況等に応じたスポーツ用具を開発するとともに、用具を寄贈する事業も行ってまいります。

本研究紀要は、特別支援学校におけるスポーツ活動の振興・充実に向けた提言や実践研究の成果、またスポーツ活動の報告を柱として、当法人が主催した「特別支援学校フットサル指導者派遣」や「2018 第2回小野寺眞悟障がい者北海道特別支援学校フットサル大会」の結果等も併せ収録したものです。

本法人は、各特別支援学校が行っている体育科での授業、また課外で行われる各スポーツ活動など、児童生徒の障がい等の実態に応じて創意工夫した実践研究等を今後も広く募集するなどし、各学校、各教員等が実践・考察したその成果を、広く北海道特別支援学校の全体に周知する機能を果たして、北海道特別支援学校が行うスポーツ活動の「知識と技能の共有化」を目指してまいります。本道特別支援学校に関係する皆様方からの忌憚のないご意見ご指導などお願いする次第です。

平成31年3月

公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会
理事長 小野寺 眞 悟



●新版デザインの選定
スポーツをするときの勝利への情熱や強いイメージをイメージしました。また、八雲町に生息するオジロフシや鶴巻、実践には八雲神社の本町熊をモチーフにデザインしました。

●旗柄・ユニフォーム/構成デザイン
北海道八雲養護学校
中学部第3学年 野田 啓 大・山本 和 真

●ロゴマーク
中学部第2学年 坂本 寛 太

●デザイン協力
高等部第2学年 中村 竜 平
高等部第1学年 尾崎 裕 平

二宮のり子デザイン・イラストレーター

3-2 研究成果報告会及びフットサル研修会の開催

平成31年3月9日、北海道立特別支援教育センターで特別支援学校教諭等が参加し、研究成果報告会を開催するとともに、午後、北海道視覚支援学校に移動してフットサルの実技に係る研修会を開催しました。

2019 第 2 回北海道特別支援学校スポーツ研究成果報告会
平成 30 年度第 3 回北海道特別支援学校フットサル研修会
開催要項

期 日 平成 31 年 3 月 9 日(土)
研究成果報告会会場 北海道立特別支援教育センター
フットサル研修会会場 北海道札幌視覚支援学校第 2 体育館

2019 第 2 回北海道特別支援学校スポーツ研究成果報告会
及び平成 30 年度第 3 回北海道特別支援学校フットサル研修会開催要項

- 1 主 催 公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会
- 2 後 援 北海道教育委員会
- 3 目 的
北海道特別支援学校のスポーツの充実・振興のため、本法人が指定研究した特別支援学校のスポーツ研究成果を報告するとともに、特別支援学校の放課後等の日中活動として、フットサルを楽しむことができるよう、教諭及び寄附者指導員等(含む、校長承認の事務職員及び部活動指導員)を対象にフットサル技術指導等のフットサル研修会を開催します。
- 4 日時と会場
日時 平成 31 年 3 月 9 日(土)
会場 研究成果報告会 : 北海道立特別支援教育センター
フットサル研修会 : 北海道札幌視覚支援学校体育館
- 5 日 程 午前 9 時受付開始
9 時 北海道立特別支援教育センター集合、受付開始
○「報告会」 9 時 05 分 開会式(主催者挨拶 小野寺眞悟理事長、事務連絡等)
9 時 10 分 研究成果報告 各校 30 分間
11 時 40 分 研究協議
12 時 10 分 終了

昼食(各自)及び北海道札幌視覚支援学校体育館に移動

○「研修会」 13 時 30 分 開始 体育館
15 時 00 分 終了

公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会

2019 第 2 回北海道特別支援学校スポーツ研究成果報告会

平成 30 年度第 3 回北海道特別支援学校フットサル研修会参加者名簿

学校名	職名	氏名	備考
北海道帯広養護学校	教諭	六本木 博文	
市立札幌みなみの杜高等支援学校	教諭	明 枝 子 竜	
市立札幌みなみの杜高等支援学校	教諭	金 子 裕	
市立札幌みなみの杜高等支援学校	教諭	石 黒 彰	
北海道美深高等養護学校	教諭	黒 崎 雄 飛	
北海道平取養護学校静内ベテカリの園分校	教諭	眞 下 健 也	
北海道釧路鶴野支援学校	実習助手	小 松 裕 樹	
北海道札幌養護学校	教諭	能 登 祐 聡	
北海道小樽高等支援学校	教諭	高 橋 徹	
北海道中札内高等養護学校	教諭	濱 谷 良 介	
北海道伊達高等養護学校	教諭	城 村 朋 希	
北海道北斗高等支援学校	教諭	戸 倉 広 義	
北海道北斗高等支援学校	事務長	遠 藤 史 磨	報告会
北海道札幌あいの星高等支援学校	教諭	笹 本 大 輔	フットサル
北海道札幌あいの星高等支援学校	教諭	大 辻 幸 喜	フットサル
北海道札幌あいの星高等支援学校	教諭	成 田 風 樹	フットサル
北海道札幌視覚支援学校	教諭	橋 谷 希 規 乃	
北海道八雲養護学校	教諭	小野寺 純 結	報告会
北海道八雲養護学校	教諭	宮 岸 尚 平	
北海道千歳高等支援学校	教諭	鹿 野 純 汰	
北海道寺金高等養護学校	教諭	海 田 健	

運営者

○全体責任者 公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会事務局長	鈴木 重 男
○フットサル指導担当者 公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会フットサル巡回指導員	西 田 順 省

第 2 号議案 平成 30 年度決算報告の件

平成30年度の決算報告は以下の通りです。平成30年7月25日までの一般財団法人時及び平成30年7月26日以降の公益財団法人時に分けてご報告申し上げます。

このことのご賛同を決議願います。

平成30年 4月 1日～平成30年7月25日 決算報告

貸借対照表

平成30年7月25日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,059,178	1,093,800	△ 34,622
流動資産合計	1,059,178	1,093,800	△ 34,622
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立資金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
公益目的事業引当資産	5,768,052	0	5,768,052
特定資産合計	5,768,052	0	5,768,052
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	8,768,052	3,000,000	5,768,052
資産合計	9,827,230	4,093,800	5,733,430
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	0	70,000	△ 70,000
預り金	43,731	8,353	35,378
流動負債合計	43,731	78,353	△ 34,622
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	43,731	78,353	△ 34,622
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	8,768,052	3,000,000	5,768,052
指定正味財産合計	8,768,052	3,000,000	5,768,052
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(5,768,052)	(0)	(5,768,052)
2. 一般正味財産	1,015,447	1,015,447	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	9,783,499	4,015,447	5,768,052
負債及び正味財産合計	9,827,230	4,093,800	5,733,430

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成30年7月25日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	2,231,948	7,000,000	△ 4,768,052
受取寄付金			0
受取寄付金振替額	2,231,948	7,000,000	△ 4,768,052
雑収益	0	57	△ 57
受取利息	0	57	△ 57
経常収益計	2,231,948	7,000,057	△ 4,768,109
(2) 経常費用			
事業費	1,954,706	4,733,578	△ 2,778,872
支払助成金	1,237,905	3,033,164	△ 1,795,259
旅費交通費	150,400	121,040	29,360
諸謝金	428,311	810,301	△ 381,990
保険料	38,090	33,563	4,527
消耗品費	0	81,648	△ 81,648
会場費	0	185,470	△ 185,470
表彰費	0	117,930	△ 117,930
食糧費	0	139,500	△ 139,500
印刷費	100,000	210,962	△ 110,962
管理費	277,242	1,661,777	△ 1,384,535
役員報酬	22,274	611,370	△ 589,096
給料手当	150,000	100,000	50,000
旅費交通費	60,000	289,850	△ 229,850
委託費	0	256,489	△ 256,489
租税公課	0	52,735	△ 52,735
食糧費	3,000	192,000	△ 189,000
支払手数料	11,988	116,208	△ 104,220
通信費	15,400	43,125	△ 27,725
消耗品費	14,580	0	14,580
経常費用計	2,231,948	6,395,355	△ 4,163,407
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	604,702	△ 604,702
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	604,702	△ 604,702
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	△ 70,000
当期一般正味財産増減額	0	534,702	△ 534,702
一般正味財産期首残高	1,015,447	480,745	534,702
一般正味財産期末残高	1,015,447	1,015,447	0
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
受取寄付金	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
受取寄付金	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
一般正味財産への振替額	△ 2,231,948	△ 7,000,000	4,768,052
当期指定正味財産増減額	5,768,052	3,000,000	2,768,052
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	8,768,052	3,000,000	5,768,052
III 正味財産期末残高			
	9,783,499	4,015,447	5,768,052

財産目録

平成30年7月25日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金 北海道銀行鳥居前支店	運転資金として	1,059,178
流動資産合計			1,059,178
(固定資産)			
基本財産	基本財産積立資金 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	基本財産として	3,000,000
特定資産	公益目的事業引当資産 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	寄付により受け入れた預金であり、公益目的事業に使用している	5,768,052
固定資産合計			8,768,052
資産合計			9,827,230
(流動負債)			
預り金	源泉所得税	公益目的事業の報酬に係る源泉所得税の預り金	43,731
流動負債合計			43,731
負債合計			43,731
正味財産			9,783,499

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産積立資金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
公的目的事業引当資産	0	5,768,052	0	5,768,052
小 計	0	5,768,052	0	5,768,052
合 計	3,000,000	5,768,052	0	8,768,052

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産積立資金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	-
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	-
特定資産				
公的目的事業引当資産	5,768,052	(5,768,052)	(0)	-
小 計	5,768,052	(5,768,052)	(0)	-
合 計	8,768,052	(8,768,052)	(0)	-

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による振替額	2,231,948
合 計	2,231,948

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし。

正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成30年7月25日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引等消去	合 計
	スポーツ活動の普及事業 (公1)	競技会の開催・助成事業 (公2)	スポーツ活動の調査・研究事業 (公3)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取寄付金	0	0	0	1,954,706	1,954,706	277,242		2,231,948
受取寄付金振替額				1,954,706	1,954,706	277,242		2,231,948
経常収益計	0	0	0	1,954,706	1,954,706	277,242	0	2,231,948
(2) 経常費用								
事業費	162,482	1,234,484	557,740	0	1,954,706	0		1,954,706
支払助成金		737,905	500,000		1,237,905			1,237,905
旅費交通費	92,660		57,740		150,400			150,400
諸謝金	66,822	361,489			428,311			428,311
印刷費		100,000			100,000			100,000
保険料	3,000	35,090			38,090			38,090
管理費	0	0	0	0	0	277,242		277,242
役員報酬						22,274		22,274
給料手当						150,000		150,000
旅費交通費						60,000		60,000
支払手数料						11,988		11,988
通信費						15,400		15,400
消耗品費						14,580		14,580
食糧費						3,000		3,000
経常費用計	162,482	1,234,484	557,740	0	1,954,706	277,242		2,231,948
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 162,482	△ 1,234,484	△ 557,740	1,954,706	0	0		0
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額								0
他会計振替額								0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 162,482	△ 1,234,484	△ 557,740	1,954,706	0	0		0
法人税、住民税及び事業税						0		0
当期一般正味財産増減額	△ 162,482	△ 1,234,484	△ 557,740	1,954,706	0	0		0
一般正味財産期首残高								1,015,447
一般正味財産期末残高								1,015,447
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益								0
基本財産受取利息								0
受取寄付金								8,000,000
受取寄付金								8,000,000
一般正味財産への振替額								△ 2,231,948
当期指定正味財産増減額								5,768,052
指定正味財産期首残高								3,000,000
指定正味財産期末残高								8,768,052
III 正味財産期末残高								
								9,783,499

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	1,101,698
流動資産合計	1,101,698
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産積立資金	50,000,000
基本財産合計	50,000,000
(2) 特定資産	
公益目的事業引当資産	1,856,859
特定資産合計	1,856,859
(3) その他固定資産	
その他固定資産合計	0
固定資産合計	51,856,859
資産合計	52,958,557
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払法人税等	70,000
預り金	2,668
2. 固定負債	
流動負債合計	72,668
負債合計	72,668
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
寄付金	51,856,859
指定正味財産合計	51,856,859
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(1,856,859)
2. 一般正味財産	1,029,030
(うち基本財産への充当額)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)
正味財産合計	52,885,889
負債及び正味財産合計	52,958,557

正味財産増減計算書

平成30年7月26日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取寄付金	3,911,193
受取寄付金振替額	3,911,193
雑収益	83,583
受取利息	283
雑収益	83,300
経常収益計	3,994,776
(2) 経常費用	
事業費	2,900,565
支払助成金	2,044,638
旅費交通費	128,680
諸謝金	110,256
食糧費	209,116
雑費	152,075
表彰費	123,984
消耗品費	31,816
印刷費	100,000
管理費	1,010,628
役員報酬	44,548
給料手当	450,000
旅費交通費	110,070
委託費	103,356
租税公課	3,335
食糧費	141,307
支払手数料	113,832
通信費	5,692
消耗品費	38,488
経常費用計	3,911,193
評価損益等計	0
当期経常増減額	83,583
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	83,583
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期一般正味財産増減額	13,583
一般正味財産期首残高	1,015,447
一般正味財産期末残高	1,029,030
II 指定正味財産増減の部	
基本財産運用益	0
基本財産受取利息	0
受取寄付金	47,000,000
受取寄付金	47,000,000
一般正味財産への振替額	△ 3,911,193
当期指定正味財産増減額	43,088,807
指定正味財産期首残高	8,768,052
指定正味財産期末残高	51,856,859
III 正味財産期末残高	52,885,889

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金 北海道銀行鳥居前支店	運転資金として	1,101,698
流動資産合計			1,101,698
(固定資産)			
基本財産	基本財産積立資金 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	基本財産として	50,000,000
特定資産	公益目的事業引当資産 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	寄付により受け入れた預金であり、公益目的事業に使用している	1,856,859
固定資産合計			51,856,859
資産合計			52,958,557
(流動負債)			
未払法人税等	市民税、道民税	法人市民税及び法人道民税の均等割額	70,000
預り金	源泉所得税	公益目的事業の報酬に係る源泉所得税の預り金	2,668
流動負債合計			72,668
負債合計			72,668
正味財産			52,885,889

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産積立資金	3,000,000	47,000,000	0	50,000,000
小 計	3,000,000	47,000,000	0	50,000,000
特定資産				
公益目的事業引当資産	5,768,052	0	3,911,193	1,856,859
小 計	5,768,052	0	3,911,193	1,856,859
合 計	8,768,052	47,000,000	3,911,193	51,856,859

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	-
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	-
特定資産				
公益目的事業引当資産	1,856,859	(1,856,859)	(0)	-
小 計	1,856,859	(1,856,859)	(0)	-
合 計	51,856,859	(51,856,859)	(0)	-

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による振替額	3,911,193
合 計	3,911,193

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし。

正味財産増減計算書内訳表

平成30年7月26日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引等消去	合 計
	スポーツ活動の普及事業 (公1)	競技会の開催・助成事業 (公2)	スポーツ活動の調査・研究事業 (公3)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取寄付金	0	0	0	2,900,565	2,900,565	1,010,628		3,911,193
受取寄付金振替額				2,900,565	2,900,565	1,010,628		3,911,193
雑収益	0	0	0	0	0	83,583		83,583
受取利息				0	0	283		283
雑収益					0	83,300		83,300
経常収益計	0	0	0	2,900,565	2,900,565	1,094,211	0	3,994,776
(2) 経常費用								
事業費	1,141,686	1,608,879	150,000	0	2,900,565	0		2,900,565
支払助成金	859,076	1,135,562	50,000		2,044,638			2,044,638
旅費交通費	128,680				128,680			128,680
諸謝金	110,256				110,256			110,256
表彰費		123,984			123,984			123,984
食糧費	7,000	202,116			209,116			209,116
印刷費			100,000		100,000			100,000
消耗品費		31,816			31,816			31,816
雑費	36,674	115,401			152,075			152,075
管理費	0	0	0	0	0	1,010,628		1,010,628
役員報酬						44,548		44,548
給料手当						450,000		450,000
旅費交通費						110,070		110,070
委託費						103,356		103,356
租税公課						3,335		3,335
支払手数料						113,832		113,832
通信費						5,692		5,692
消耗品費						38,488		38,488
食糧費						141,307		141,307
経常費用計	1,141,686	1,608,879	150,000	0	2,900,565	1,010,628		3,911,193
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 1,141,686	△ 1,608,879	△ 150,000	2,900,565	0	83,583		83,583
(1) 経常外収益								0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額								0
他会計振替額								0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,141,686	△ 1,608,879	△ 150,000	2,900,565	0	83,583		83,583
法人税、住民税及び事業税						70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,141,686	△ 1,608,879	△ 150,000	2,900,565	0	13,583		13,583
一般正味財産期首残高								1,015,447
一般正味財産期末残高								1,029,030
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益								0
基本財産受取利息								
受取寄付金								47,000,000
受取寄付金								47,000,000
一般正味財産への振替額								△ 3,911,193
当期指定正味財産増減額								43,088,807
指定正味財産期首残高								8,768,052
指定正味財産期末残高								51,856,859
III 正味財産期末残高								52,885,889

監査報告書

公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会

理事長 小野寺 眞 悟 様

平成 31 年 4 月 5 日

公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会

監事 水 野 克 也

監事 田 澤 泰 明

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席するとともに、ことあるごとに、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。